

パフォーミング・アーツ学科／メディア・デザイン学科 ／芸術教育学科

玉川大学芸術学部は、建学の精神と冒頭に掲げた学部の定める人材育成の目標、そして学科ごとの学位授与方針にもとづいて、体系化された教育課程（カリキュラム）を編成しています。ここではそのうち芸術学部全体に共通する部分について説明します。

カリキュラムの特徴

1 段階的な科目編成と「科目群」

芸術学部各学科のカリキュラムは「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」と「学科専門科目」の2種類から構成されています。

すべての「学科専門科目」は開講学期および科目番号にしたがって段階別に編成され、さらに「導入」・「発展」・「専攻」と順次展開する各科目群のいずれかに組み込まれています。これによりどのような分野においても効率的に自身の能力を高めていくことができます。

2 学士号の取得と「履修条件」

各学科のカリキュラムは、芸術の多様な分野のそれぞれを効率的に学ぶことできるよう設計されています。加えて、私たち芸術学部では、そのうちどの分野を選ぶ場合でも「学士（芸術学）」として必要な実技と理論、そして英語力をはじめとするコミュニケーション能力を、バランスよく身に付けることが必要だと考えています。


このため、芸術学部のいくつかの科目には、「必修」や「選択必修」、そのほか同時履修や先行履修条件（プリ・リクイジット）（*）など、各種の履修条件が設定されています。この条件を守りながら学修を進めていくことではじめて、それぞれのジャンルの専門的な知見と広い視野、そして「学士（芸術学）」として必要な能力を修得することが可能になります。

各学科のカリキュラムについての詳細は130ページ以降に記載されています。

*「先行履修条件」は、所定の試験に合格するなど、その科目を履修する能力があると認められる場合に免除されることがあります（これを「認定」と呼びます）。

卒業要件

芸術学部各学科の卒業要件は、学部で定めた学位授与の方針（p.126「ディプロマ・ポリシー」参照）とカリキュラム編成の方針にもとづいて設定されています。詳細は各学科の該当ページを参照してください。

 単位のしくみ
p. 9

 ユニバーシティ・スタンダード科目
p. 39～42

学修継続条件（「警告」と「注意」）

芸術学部では、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかをチェックするために、「学修継続条件」を定めています。これには全学部に通ずる「警告」と、芸術学部で設定している「注意」が含まれます。

「警告」については本ガイド24ページにある「学修継続条件」の説明を参照してください。

「警告」および「注意」は下表の規準にしたがって適用します。

			年次		1		2		3		4		卒業 延期者
			学期		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
学修 継続 条件	警告	当該学期のGPAが右の値未満	1.80	1.80	1.90	1.90	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
	注意 * 右のa またはb に該当す る場合	a. セメスター終了時の累積修得単位数が右の単位数以下	14	30	46	62	78	94	110	当該セメスターでの卒業が不可能な学生			
		b. 累積GPAが右の値未満	2.20										

「警告」や「注意」を受けるのは、十分な学修上の成果があげられていないときです。その場合は学部の教員から、履修内容や学習の方法に関して指導を受けなければなりません（「注意・警告者対象ガイダンス」）。こうした指導を受けても学修状況に改善が見られず、「警告」を3回受けた場合には退学となります（p.24参照）。また「注意」を受けるということは、卒業が延期になる可能性が高いということになります。

履修モデル

芸術学部の各学科では、学修の分野と卒業後の進路に応じた複数の「履修モデル」を用意しています。このモデルを参照しながら履修計画を立てることで、正しく、効率的に、自身の求める学修成果や、取得を希望する免許・資格に近づくことができます。それぞれの履修モデルについては各学科の該当ページを参照してください。



警告
p. 24



GPA計算例
p. 20

